

「インフルエンザ・肺炎球菌予防接種」について



＜インフルエンザ予防接種＞

インフルエンザの最も確実な予防法は流行前にワクチンを接種することです。特に抵抗力の弱い小児や高齢者、慢性の病気を持っている方などは重症化することがありますので積極的に接種しましょう。

インフルエンザの流行は、だいたい11月から4月です。ワクチンは、接種してから免疫ができるまで2週間かかります。こうしてできた免疫は5か月間続きます。

対象の方には予防接種のお知らせが郵送されますので、かかりつけの医師と相談してください。

＜肺炎球菌予防接種＞

インフルエンザをきっかけに肺炎になることがあります。インフルエンザウイルスに感染すると、気道の表面の細胞が壊され肺炎球菌などの細菌が侵入しやすくなります。

肺炎球菌ワクチンは、高齢者の肺炎の原因として頻度の高い肺炎球菌に狙いを絞ったワクチンで、肺炎の予防と重症化を予防します。

令和2年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる対象の方は医療費の助成が受けられます。予防接種のお知らせを確認し医療機関で接種しましょう。

最後に予防接種と併せて、手洗い・うがいの実施、マスクの着用などを心がけましょう。

十分な休養とバランスの良い食事を摂ること、水分補給と適切な室内環境を整えることでインフルエンザや肺炎球菌による肺炎の予防につとめていきましょう。

